

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年1月20日

事業所名 こぼんはうすさくら 名取教室

保護者等数（児童数） 16名 回収数 15枚 割合 93.8 %

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		3	人数が不足しているように思う。 長期休みなど人数の多い時に職員がもう一人くらいいるとよい。	国の基準に沿った人数を配置しております。名取教室では+2名以上の配置で支援を行っています。今後職員も増える予定です。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	1			トイレに子供用のスリッパを置いてほしい	転倒防止の為に子供用スリッパは置いておりません。足元にはマットを敷いて導線を作り、使用後は毎回除菌をしております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16				こちらの話をよく聞いて下さり計画を作成していただいています。	保護者様の意見も取り入れながら、お子様の計画書を作成しております。目標が達成された際は都度報告し新たな目標を立てております。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	1		1		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	1		1	実際に見ていないため分からない 本人支援の「エ」に関して進捗状況が不明だったので情報共有があると助かります。	計画書を保護者様へ同意をいただき、毎日個別目標を確認し支援しており、連絡帳や対面で情報共有をしております。今後も様子をお伝えしていきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15			1	実際に見ていないため分からない	毎月プログラムをお渡ししており、ほぼ毎日違うプログラムを行っています。SNSやお便りなどで活動の様子などもお伝えしております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	2	7		今後実施予定です。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1	1			契約時に契約書、重要事項説明書の読み合わせの際ご説明させていただいております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15			1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	10	2	3	1	ぜひ、ペアトレに力を入れてほしい。	共通支援が必要なご家庭には、事業所で使用している絵カードなどお渡ししご家庭でも使って頂いております。今後は保護者様の意向をお聞きし取り入れていきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15		1		その都度活動時の出来事などを教えて頂き、こちらの話も聞いて下さりそれに応じたアドバイスも頂けるので心強いです。 もう少し相談する機会を作りたい。	ご相談があれば、いつでも受け付けます。お気軽にご相談下さい。
保 護 者 へ の 説 明 等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	2		1	トイレトレーニングや爪をむくことのご相談をした際、アドバイスをいただいた。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	3		2	母親は行くが父親は行きたくない。	毎月保護者様が参加できるイベントを企画、開催しております。お気軽にご参加いただき、保護者様の交流をはかっていたきたいです。ご夫婦でも参加できる内容も今後検討致します。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	1		1		都度対応させていただき、職員間で共有をしております。ご不安、ご不明点があればいつでもお気軽にお伝えください。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16				おたよりやSNSなどで普段の活動の様子を知ることができるともありがたく感じています。	月1回お便り、週1回SNS、blogで日常の様子をお伝えしております。今後も継続していきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16					
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15			1		契約時にご説明させて頂いております。相談室に閲覧できるように設置しております。訓練も月1回お子さまと一緒にっております。
非 常 時 等 の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16					毎月事業所内でお子さまと一緒に火災、地震、水害、不審者訓練などを行っております。プログラムやお便りをご確認ください。
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15	1			*現在、保育所は週5通所は週3日ですが保育所の日より通所できる日が減っております。 *行き先はあるが行けば楽しいようだ。	
満足 度	23	事業所の支援に満足しているか	15	1			*先立ちは日頃から丁寧な対応と配慮下さっており安心して子供を通わせることが出来ます。ありがとうございます。 *施設内で取った写真など購入出来たら嬉しいです。 *笑顔での対応が素晴らしい。	写真などに関して販売を検討致します。

321 20 7 20

87%

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年1月20日

事業所名 こぼんはうすさくら 名取教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		活動中は物が無い状態にし、室内を広く使えるようにしている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	6		基準の配置より多くしている。	今後職員を増員する予定。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		可視化をし、写真やイラストなど全てわかるようにしている。段差も極力ないようにして、角などにはクッション材を使用している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		掃除や消毒・除菌・換気も行い感染予防に努めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		朝礼・終礼を毎日行っている。 職員全員が周知できるよう、共有を常に心掛け、申し送りを毎日行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		6		初年度のため今回が初めてになる。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		6		初年度のため今回が初めてになる。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		初年度のため今回が初めてになる。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		オンライン研修などの機会を作っていた。外部研修も参加している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		回覧やミーティングの時に意見交換を行っている。研修後、受講していない職員にも共有している。毎日の朝礼で、当日利用するお子様の個別計画を確認し、毎月職員会議で振り返りを行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		子どもの伸ばしたい所を組み込んだプログラムを職員と話し合いながら立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		毎日リーダーを変えてプログラムも変えている。季節や子どもの特徴を考慮し、工夫している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		個々に援助が必要な場合は、計画に沿って支援できるように作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		朝礼時に確認している。 準備物など、リーダーが支援しやすいタイミングするよう打ち合わせをしている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		終礼時共有している。 内容、進め方などより良く支援できるように共有している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		個別目標に関する記入・終礼時の議事録を毎日記録を残している。支援して良かったこと、今後の手だてを毎日記録し、共有している。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6				
関係機関や保護者	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		管理者、児発管が同席し、他職員へも共有している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		保健センター、保健師、担当医、相談支援事業所、保育所、幼稚園、他事業所など、お子様が関わっている機関と確認しながら共有支援に心がけている。	
	23 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		現在対象者はいないが、利用者に関わりのある関係機関と連携を行っている。	
	24 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6		現在対象者はいないが、利用者に関わりのある関係機関と連携を行っている。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		複数利用されている方については、情報共有を行い、連携を取っている。	

護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		学校、担任などと情報共有をし、連携を取り、事業所内で共有している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		研修がある時は積極的に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6		今後実施予定
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎やお迎えの際、プログラムで行ったことや、できた事など必ずお伝えしている。 毎週連絡帳、送迎時にお伝えし、情報共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6		必要ご家庭には、事業所で使用している絵カードなどを作成し、ご自宅でも使用してもらったり、一緒に出来る支援を共有している。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に契約書、重要事項説明書の読み合わせをし、その際お伝えしご理解いただいている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		契約時にご説明し、ご署名を頂いている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		月1回開催し、いくつか議題を提案して話し合いや保護者同士の交流をしてもらっている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		申し入れがあるとすぐ適任者が対応し、周知して職員全員で共有している。	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		おおよその予定日を決め、まとめて発行できるようにしている。 月1回活動の様子などをお便りで紹介し、週1回SNSやblogで情報発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		今後実施予定
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		プログラム内でお子様を含め職員も参加している。 契約時にご説明し、相談室にいつでも見えていただけるよう設置している。訓練の様子はお便り、SNS、blogでお伝えしている。	
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		月1回はお子さまと一緒に訓練を実施している。		
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6				
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		アレルギーのあるお子さまは別室で職員が対応し、食後は全員手洗いなど周知している。医師からの指示書はないが、保護者からの希望で配慮している。		
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		全員研修に参加している。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6				